

## 【面接官の印象】

### 1. 外国人面接官の印象

40代後半くらいの女性。ニコニコと感じのよい人。

部屋に入ってすぐに”Hello”と声をかけると、”How are you?”と言われたので、歩きながら”I am fine thank you.”と和やかな気持ちで着席。

### 2. 通訳ガイド

40代後半くらいの女性。

### 3. 通訳試験について

《出題された日本文》

古来より、大阪は、地方から人人が集まる場所でした。いくつかの川が合流する港には、アジアからの貿易で、商人や人々でにぎわっていました。大阪は、日本の経済の中心でした。感想として、問題文は、もっと長かったです。長いなと漢字ながら、2/3しか聞き取れず、半分しか訳せませんでした。）

《自分の解答》

### 4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 駅の自動改札
- ② 提灯
- ③ 漆器

《選択したトピック》

『漆器』

《発表した内容》

漆器は、漆を塗ったお皿、ワンです。漆は、漆の木からとれる液で、黒や赤の顔料を入れて色をつけます。漆は、熱、湿気、腐食に耐性を持っている特長が挙げられます。日本では、漆は、縄文時代から使われていたことがわかっています。15世紀には、漆器がヨーロッパにも輸出され、海外にも広まりました。漆器は、現在でも高価です。漆塗りは、グランドピアノの黒いコーティングにも使われているそうです。

### 5. 質疑応答について

NS	What is “urushi” tree?
I	It is resin liquid from the tree.

NS	Are there any other colors or patterns?
I	Yes, I heard a few other colors and gold particle(powder と言うべきだった!)
NS	Are there any shikki with a low price?
I	No, I do not think so.
NS	You mentioned jomon period. What is that period?
I	It was BC8000 – BC300
NS	Are there any shikki other than bowl?
I	Yes, chopsticks and cup.
NS	Are there any shikki at home?
I	Yes, I have shikki at home. I use them for putting the osechi ryori on shogatsu.

## 6. 試験を終えての感想

通訳は、授業で練習した文（2行）よりも長かった（3行）。昨年も、長いと感じた。半分しか訳せなかったが、これが今の実力。授業での練習文は長め（3行）にしたほうがいいです。

プレゼンでは、①と②は2分も話せないし、会話も弾まないと判断。漆器と陶磁器は、日本の工芸品として、興味があって勉強していたので、幸運だった。質疑応答での会話は、弾んだので、今回こそなんとか合格させてほしいなと思った。